



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部門担当兼経営戦略室長 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	161,440	△5.3	4,033	△33.2	4,388	△31.4	3,457	△21.2
2020年3月期	170,541	△6.7	6,038	△8.5	6,401	△9.0	4,390	△10.5
(注) 包括利益	2021年3月期		6,274百万円( 92.4%)		2020年3月期		3,261百万円( 2.7%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	136.99	—	4.8	3.8	2.5
2020年3月期	173.94	—	6.4	5.5	3.5

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	120,265	75,206	62.5	2,979.91
2020年3月期	113,432	69,966	61.7	2,772.28
(参考) 自己資本	2021年3月期		75,206百万円	
	2020年3月期		69,966百万円	

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	4,948	△1,302	△1,835	17,415
2020年3月期	5,176	△1,401	△1,634	15,756

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00	1,211	27.6	1.8
2021年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00	933	27.0	1.3
2022年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		30.6	

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,500	12.7	2,060	25.2	2,210	23.4	1,520	△8.9	60.23
通期	175,000	8.4	4,600	14.1	4,800	9.4	3,300	△4.5	130.76

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	26,025,242株	2020年3月期	26,025,242株
② 期末自己株式数	2021年3月期	787,464株	2020年3月期	787,366株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	25,237,784株	2020年3月期	25,238,066株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	112,726	△12.1	2,846	△41.6	3,115	△39.6	2,102	△41.5
2020年3月期	128,207	△6.2	4,875	△8.6	5,155	△8.4	3,593	△11.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	83.31		—					
2020年3月期	142.38		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	
2021年3月期	93,536		57,985	62.0	2,297.55		
2020年3月期	89,470		54,392	60.8	2,155.20		

(参考) 自己資本 2021年3月期 57,985百万円 2020年3月期 54,392百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(企業結合等関係)	17
(重要な後発事象)	17
4. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状況で推移しました。年度後半からは輸出や生産活動にやや持ち直しの動きが見られましたが、繰り返される感染拡大の波により景気の先行きに対する不透明感は強まっております。

当社企業グループにおいても、半導体製造装置や自動車関連などの主要顧客では、中国経済の回復から一部に回復の兆しが見られたものの、依然として本格的な設備投資の立ち上がりは見通しにくい状況が続いております。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、「人命の安全・安心」を最優先とした感染防止策を徹底しながらお客様への商品の供給とサービス活動を継続するとともに、次世代の社会に適應する技術商社としてロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズへの対応や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の普及に努めてまいりました。それらを披露する場として「CEATEC 2020 ONLINE」をはじめ、「関西ものづくりワールド展」「ET&IoT Digital 2020」と大規模展示会への出展を継続して当社企業グループの技術力を発信するとともに、お客様に効果を検証していただける「展示場・ラボルーム」を本社1階に開設するなど、将来につながる投資を積極的に実行しました。また、コロナ禍で活動が制限される中で利益生産性の向上を図るべくデジタル化を推し進めて業務の合理化・効率化にも取り組んでまいりました。

拠点政策では、インドネシアの現地法人として2014年に設立したタチバナセールス（インドネシア）社については、今後の業容拡大が見込めないと判断し、当連結会計年度末に閉鎖しました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,614億40百万円（前期比5.3%減）、営業利益40億33百万円（前期比33.2%減）、経常利益43億88百万円（前期比31.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は34億57百万円（前期比21.2%減）となりました。

なお、上記の業績には、八洲電子ソリューションズ株式会社の株式取得における負ののれん発生益3億95百万円を特別利益として計上しております。

セグメント別については以下のとおりであります。

#### 〔FAシステム事業〕

売上高：880億71百万円（前期比11.9%減）、営業利益：29億19百万円（前期比30.6%減）

FA機器分野では、注力分野の各種センサーが物流並びに半導体製造装置向けにシステムの組込み販売として伸長したものの、総じて生産関連設備投資の動きは弱く、主力のプログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボ及び配電制御機器が減少、産業機械分野の工作機械及びレーザー加工機も低調でした。

その結果、当事業全体の売上高は、前期比11.9%の減少となりました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高：543億47百万円（前期比13.3%増）、営業利益：8億68百万円（前期比32.3%減）

半導体デバイス事業では、中国の経済活動が活発になる中、電子部品に回復の動きが見られ、特に海外では中国を含むアジアの市場が劇的な回復を見せました。一方、国内では2020年4月に子会社化した株式会社立花電子ソリューションズが寄与し、子会社業績が前年に比して増加しましたが、当事業の主要顧客である産業向けの需要は未だ十分な回復に至らず苦戦を強いられました。

その結果、当事業全体の売上高は、前期比13.3%の増加となりました。

#### 〔施設事業〕

売上高：153億81百万円（前期比14.1%減）、営業利益：2億47百万円（前期比51.8%減）

施設事業では、住宅向けのエコキュートや電気温水器など一部に堅調な分野はあったものの、オリンピック需要の収束から新規の建設案件は低調、また新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの施設で更新案件が延期や中止になったことから、店舗用パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなど主力の空調機器が減少しました。かく状況下で新型コロナ対策を含む短納期商材の拡販に努めるも、業績を下支えするには至りませんでした。

その結果、当事業全体の売上高は、前期比14.1%の減少となりました。

## 〔その他〕

売上高：36億40百万円（前期比22.7%減）、営業損失：2百万円（前期は34百万円の利益）

MMS分野は、主力の立体駐車場向けとスチールラック向けの金属部材が工事延期の多発や鉄鋼価格の高騰から低調に推移しました。EMS分野についても、自動車関連向け電子機器製造受託とプラットホーム可動柵の案件が、コロナ禍の影響を受けて工期延伸となったことから低調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前期比22.7%の減少となりました。

上記セグメントの内、海外事業売上高については次のとおりであります。

売上高：238億59百万円（前期比2.8%増）

海外事業売上高は、米中貿易摩擦の長期化はあるものの、コロナ禍からの早期立ち上がりにより中国を含むアジアの日系・ローカル顧客向けの売上げが堅調に推移いたしました。なお、海外事業売上高比率は14.8%であります。

## （2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度の連結貸借対照表は、株式会社立花電子ソリューションズを連結子会社としたことによる影響が含まれております。

当連結会計年度における資産合計は1,202億65百万円となり、前連結会計年度に比べ68億32百万円増加いたしました。

流動資産は907億25百万円となり、前連結会計年度に比べ23億2百万円増加いたしました。この主な要因は、商品の増加26億37百万円であります。

固定資産は295億39百万円となり、前連結会計年度に比べ45億29百万円増加いたしました。この主な要因は、株式市場の活況による保有株式の時価上昇を主因とする投資有価証券の増加37億50百万円、退職給付に係る資産の増加6億34百万円であります。

当連結会計年度における負債合計は450億58百万円となり、前連結会計年度に比べ15億92百万円増加いたしました。

流動負債は412億21百万円となり、前連結会計年度に比べ2億8百万円増加いたしました。この主な増減は、支払手形及び買掛金の増加7億42百万円、未払法人税等の減少4億3百万円であります。

固定負債は38億37百万円となり、前連結会計年度に比べ13億84百万円増加いたしました。この主な要因は、繰延税金負債の増加13億93百万円であります。

当連結会計年度における純資産合計は752億6百万円となり、前連結会計年度に比べ52億39百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加24億22百万円、その他有価証券評価差額金の増加27億55百万円であります。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当社企業グループの当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、174億15百万円となり前連結会計年度末より16億58百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、49億48百万円の収入（前連結会計年度は51億76百万円の収入）となりました。主な内容は、税金等調整前当期純利益47億87百万円、売上債権の減少額44億80百万円などの増加、たな卸資産の増加額21億6百万円、法人税の支払額15億97百万円などの減少であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億2百万円の支出（前連結会計年度は14億1百万円の支出）となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出2億75百万円、無形固定資産の取得による支出3億25百万円、連結の範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出4億58百万円などあります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億35百万円の支出（前連結会計年度は16億34百万円の支出）となりました。主な内容は、短期借入金の減少による支出8億13百万円、配当金の支払額による支出10億35百万円などです。

#### (4) 今後の見通し

当連結会計年度の後半には半導体製造装置などの一部の業界では回復が見られましたが、コロナ禍にあっただけ繰り返される感染拡大の波により今後の景況については極めて見通しにくい状況にあります。

このような環境の中で、次期については新規の設備投資の急回復は望めませんが、省力化、効率化を目的としたリニューアルの設備投資需要の復調と半導体分野の一定の伸長を見込み、国内・海外ともに上向くものと予測しております。

現時点における2022年3月期の業績見通しは以下の通りであります。

当期純利益を減益予想とした要因は、当連結会計年度に計上した負ののれんの特別利益の影響によるものです。

なお、新型コロナウイルスの経済活動への影響次第では、業績見通しは変動する可能性があります。

	通 期	
売上高	1,750億円	(前期比 8.4%増)
営業利益	46億円	(前期比 14.1%増)
経常利益	48億円	(前期比 9.4%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	33億円	(前期比 4.5%減)

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループは、連結財務諸表の同業他社との比較可能性を考慮して、会計基準については日本基準を採用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,117	18,987
受取手形及び売掛金	57,190	54,816
有価証券	—	101
商品	11,692	14,329
仕掛品	10	6
原材料	0	0
未収入金	1,764	1,743
その他	706	787
貸倒引当金	△59	△47
流動資産合計	88,422	90,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,930	7,964
減価償却累計額	△5,652	△5,792
建物及び構築物(純額)	2,278	2,172
機械装置及び運搬具	59	59
減価償却累計額	△53	△45
機械装置及び運搬具(純額)	5	13
工具、器具及び備品	1,263	1,461
減価償却累計額	△905	△1,072
工具、器具及び備品(純額)	358	388
土地	2,527	2,527
リース資産	38	58
減価償却累計額	△29	△39
リース資産(純額)	9	19
建設仮勘定	22	70
有形固定資産合計	5,201	5,192
無形固定資産		
ソフトウェア	382	579
その他	49	26
無形固定資産合計	431	606
投資その他の資産		
投資有価証券	18,185	21,936
長期貸付金	7	4
退職給付に係る資産	284	919
繰延税金資産	116	160
その他	870	807
貸倒引当金	△88	△86
投資その他の資産合計	19,377	23,741
固定資産合計	25,009	29,539
資産合計	113,432	120,265

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,183	33,925
短期借入金	1,548	2,064
未払法人税等	848	445
賞与引当金	1,089	998
その他	4,343	3,788
流動負債合計	41,013	41,221
固定負債		
長期借入金	71	60
繰延税金負債	1,421	2,814
退職給付に係る負債	652	706
その他	307	255
固定負債合計	2,452	3,837
負債合計	43,466	45,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,999	6,999
利益剰余金	53,595	56,018
自己株式	△894	△894
株主資本合計	65,575	67,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,004	6,759
繰延ヘッジ損益	△7	3
為替換算調整勘定	198	△42
退職給付に係る調整累計額	195	487
その他の包括利益累計額合計	4,390	7,208
純資産合計	69,966	75,206
負債純資産合計	113,432	120,265

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	170,541	161,440
売上原価	147,150	140,325
売上総利益	23,390	21,115
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,205	2,172
給料及び手当	7,484	7,704
賞与引当金繰入額	1,086	1,054
退職給付費用	366	319
減価償却費	403	454
その他	5,806	5,376
販売費及び一般管理費合計	17,352	17,082
営業利益	6,038	4,033
営業外収益		
受取利息	136	91
受取配当金	307	287
仕入割引	62	59
貸倒引当金戻入額	—	12
雑収入	172	191
営業外収益合計	678	642
営業外費用		
支払利息	22	23
為替差損	67	61
売上割引	187	166
雑損失	38	36
営業外費用合計	316	287
経常利益	6,401	4,388
特別利益		
投資有価証券売却益	90	2
負ののれん発生益	—	395
特別利益合計	90	398
特別損失		
投資有価証券評価損	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前当期純利益	6,439	4,787
法人税、住民税及び事業税	1,856	1,203
法人税等調整額	193	126
法人税等合計	2,049	1,329
当期純利益	4,390	3,457
親会社株主に帰属する当期純利益	4,390	3,457

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	4,390	3,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△909	2,755
繰延ヘッジ損益	△8	11
為替換算調整勘定	△16	△241
退職給付に係る調整額	△194	292
その他の包括利益合計	△1,128	2,817
包括利益	3,261	6,274
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,261	6,274
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,874	6,999	50,417	△893	62,397
当期変動額					
剰余金の配当			△1,211		△1,211
親会社株主に帰属する当期純利益			4,390		4,390
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,178	△0	3,177
当期末残高	5,874	6,999	53,595	△894	65,575

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,913	0	215	390	5,519	67,916
当期変動額						
剰余金の配当						△1,211
親会社株主に帰属する当期純利益						4,390
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△909	△8	△16	△194	△1,128	△1,128
当期変動額合計	△909	△8	△16	△194	△1,128	2,049
当期末残高	4,004	△7	198	195	4,390	69,966

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,874	6,999	53,595	△894	65,575
当期変動額					
剰余金の配当			△1,034		△1,034
親会社株主に帰属する当期純利益			3,457		3,457
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	2,422	△0	2,422
当期末残高	5,874	6,999	56,018	△894	67,997

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,004	△7	198	195	4,390	69,966
当期変動額						
剰余金の配当						△1,034
親会社株主に帰属する当期純利益						3,457
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,755	11	△241	292	2,817	2,817
当期変動額合計	2,755	11	△241	292	2,817	5,239
当期末残高	6,759	3	△42	487	7,208	75,206

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,439	4,787
減価償却費	404	455
賞与引当金の増減額(△は減少)	△346	△158
負ののれん発生益	-	△395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△13
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△138	△234
受取利息及び受取配当金	△444	△378
支払利息	22	23
為替差損益(△は益)	23	△7
投資有価証券売却損益(△は益)	△90	△2
固定資産売却損益(△は益)	4	-
売上債権の増減額(△は増加)	8,813	4,480
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,655	△2,106
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,631	448
未収入金の増減額(△は増加)	29	92
その他	255	△823
小計	7,002	6,165
利息及び配当金の受取額	503	403
利息の支払額	△23	△23
法人税等の支払額	△2,306	△1,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,176	4,948
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	159	△249
有価証券の償還による収入	200	-
有形固定資産の取得による支出	△306	△275
有形固定資産の売却による収入	25	-
無形固定資産の取得による支出	△209	△325
投資有価証券の取得による支出	△1,466	△229
投資有価証券の売却による収入	190	73
投資有価証券の償還による収入	-	150
貸付けによる支出	△3	△0
貸付金の回収による収入	4	14
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△458
その他の支出	△8	△6
その他の収入	11	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,401	△1,302

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	△813
長期借入れによる収入	-	60
長期借入金の返済による支出	△12	△33
リース債務の返済による支出	△11	△13
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,210	△1,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,634	△1,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,118	1,658
現金及び現金同等物の期首残高	13,638	15,756
現金及び現金同等物の期末残高	15,756	17,415

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、新たに株式を取得し子会社とした株式会社立花電子ソリューションズを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社企業グループは、取り扱う商品・サービスを基軸として区分した事業の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社企業グループの報告セグメント及びその主要取扱商品・サービスは次のとおりであります。

報告セグメント	主要取扱商品・サービス
FAシステム事業	プログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボ、各種モーター、配電制御機器、産業用ロボット、放電加工機、レーザー加工機、コネクタ、エンベデッド機器、産業用パソコン、タッチパネルモニター
半導体デバイス事業	半導体（マイコン、ASIC、パワーデバイス、メモリー、アナログIC、ロジックIC）、電子デバイス（メモリーカード、密着イメージセンサー、液晶）
施設事業	パッケージエアコン他空調機器、LED照明、太陽光発電システム、オール電化機器、ルームエアコン、昇降機、受変電設備機器、監視制御装置

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	99,946	47,975	17,907	165,829	4,711	170,541	—	170,541
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	99,946	47,975	17,907	165,829	4,711	170,541	—	170,541
セグメント利益(営業利益)	4,207	1,282	514	6,003	34	6,038	—	6,038
セグメント資産	47,945	17,969	9,454	75,369	2,900	78,270	35,162	113,432
その他の項目								
減価償却費	256	86	47	390	13	404	—	404
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	356	133	75	565	21	586	—	586

(注)1 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおりま  
す。

- 2 セグメント資産の調整額35,162百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産で、その主なものは、  
余資運用資金(現金及び預金、有価証券等)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	88,071	54,347	15,381	157,800	3,640	161,440	—	161,440
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	88,071	54,347	15,381	157,800	3,640	161,440	—	161,440
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	2,919	868	247	4,035	△2	4,033	—	4,033
セグメント資産	44,318	23,621	8,594	76,533	2,816	79,350	40,915	120,265
その他の項目								
減価償却費	279	108	52	440	15	455	—	455
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	335	139	73	548	20	568	—	568

(注)1 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおりま  
す。

- 2 セグメント資産の調整額40,915百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産で、その主なものは、  
余資運用資金(現金及び預金、有価証券等)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
149,964	20,452	124	170,541

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
5,192	9	—	5,201

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
139,756	20,549	1,134	161,440

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
5,178	14	—	5,192

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

「半導体デバイス事業」セグメントにおいて、当連結会計年度に新たに株式を取得し子会社とした株式会社立花電子ソリューションズを連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上は、当連結会計年度において395百万円であります。なお、この金額はセグメント利益又は損失の金額には含まれておりません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,772円28銭	2,979円91銭
1株当たり当期純利益金額	173円94銭	136円99銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,390	3,457
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(百万円)	4,390	3,457
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,238	25,237

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 八洲電子ソリューションズ株式会社  
事業の内容 電子デバイス・コンポーネント事業

## ② 企業結合を行った主な理由

当社は、電機・電子の技術商社として、FAシステム、半導体デバイス、施設、MS（マニュファクチャリング・サービス）及び海外の5事業を有しております。この中で主力事業の一つである半導体デバイス事業では、規格品からユーザー仕様品まで、ニーズに合わせた半導体や電子デバイス製品の販売、さらにマイコンやカスタムLSIの設計開発を行っております。

そのような状況下、八洲電子ソリューションズ株式会社が当社企業グループの一員となることは、商材ラインナップの拡充による顧客満足度の向上、販売先の重なりも少ないことによるマーケットの拡大、また、お互いの得意分野における技術補完によるソリューション提案力の強化が図れるなど、大きなシナジー効果が得られるものと判断しました。

## ③ 企業結合日

2020年4月1日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

## ⑤ 結合後企業の名称

株式会社立花電子ソリューションズ

## ⑥ 取得した議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による現金を対価とする株式取得であるため。

## (2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2020年4月1日から2021年3月31日まで

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	530百万円
取得原価		530百万円

## (4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 17百万円

## (5) 負ののれん発生益の金額及び発生原因

## ① 負ののれん発生益の金額

395百万円

## ② 発生原因

企業結合時における時価純資産が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しております。

## (6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	3,122百万円
固定資産	166 "
資産合計	3,289 "
流動負債	2,283 "
固定負債	80 "
負債合計	2,363 "

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,155	8,872
受取手形	3,276	2,348
電子記録債権	9,869	9,252
売掛金	31,544	30,496
商品	7,131	9,019
前渡金	422	95
前払費用	111	142
未収入金	1,792	1,654
その他	1,293	1,385
貸倒引当金	△46	△43
流動資産合計	63,551	63,224
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,035	1,943
構築物	23	19
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	313	339
土地	1,136	1,136
建設仮勘定	22	68
有形固定資産合計	3,531	3,506
無形固定資産		
ソフトウェア	376	551
その他	26	4
無形固定資産合計	403	555
投資その他の資産		
投資有価証券	15,377	19,025
関係会社株式	6,246	6,661
長期貸付金	185	176
破産更生債権等	0	0
長期前払費用	58	53
差入保証金	100	100
前払年金費用	2	216
その他	93	93
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	21,983	26,249
固定資産合計	25,918	30,311
資産合計	89,470	93,536

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	319	336
電子記録債務	6,430	5,529
買掛金	20,253	21,599
短期借入金	1,515	1,525
未払金	1,151	941
未払費用	282	284
未払法人税等	649	291
未払消費税等	325	—
前受金	1,136	930
預り金	842	1,000
前受収益	26	3
賞与引当金	870	732
その他	10	—
流動負債合計	33,817	33,175
固定負債		
長期借入金	50	—
繰延税金負債	1,142	2,307
資産除去債務	8	8
その他	60	60
固定負債合計	1,260	2,376
負債合計	35,077	35,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金		
資本準備金	5,674	5,674
その他資本剰余金	313	313
資本剰余金合計	5,988	5,988
利益剰余金		
利益準備金	349	349
その他利益剰余金		
別途積立金	35,300	35,300
繰越利益剰余金	3,927	4,995
利益剰余金合計	39,577	40,645
自己株式	△894	△894
株主資本合計	50,546	51,613
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,853	6,367
繰延ヘッジ損益	△7	3
評価・換算差額等合計	3,846	6,371
純資産合計	54,392	57,985
負債純資産合計	89,470	93,536

## (2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	128,207	112,726
売上原価	111,195	98,539
売上総利益	17,012	14,187
販売費及び一般管理費	12,137	11,340
営業利益	4,875	2,846
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	342	333
仕入割引	15	14
為替差益	—	20
貸倒引当金戻入額	8	3
雑収入	213	123
営業外収益合計	579	495
営業外費用		
支払利息	19	20
売上割引	200	174
為替差損	50	—
雑損失	27	31
営業外費用合計	298	226
経常利益	5,155	3,115
特別利益		
投資有価証券売却益	90	—
特別利益合計	90	—
特別損失		
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	17	—
税引前当期純利益	5,229	3,115
法人税、住民税及び事業税	1,475	916
法人税等調整額	160	96
法人税等合計	1,635	1,012
当期純利益	3,593	2,102

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金 利益剰余金合計			
当期首残高	5,874	5,674	313	5,988	349	32,400	4,445	37,195	△893	48,164
当期変動額										
剰余金の配当							△1,211	△1,211		△1,211
当期純利益							3,593	3,593		3,593
別途積立金の積立						2,900	△2,900	—		—
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分										
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	2,900	△517	2,382	△0	2,381
当期末残高	5,874	5,674	313	5,988	349	35,300	3,927	39,577	△894	50,546

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	4,679	0	4,680	52,845
当期変動額				
剰余金の配当				△1,211
当期純利益				3,593
別途積立金の積立				—
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△825	△8	△833	△833
当期変動額合計	△825	△8	△833	1,547
当期末残高	3,853	△7	3,846	54,392

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	5,874	5,674	313	5,988	349	35,300	3,927	39,577	△894	50,546
当期変動額										
剰余金の配当							△1,034	△1,034		△1,034
当期純利益							2,102	2,102		2,102
別途積立金の積立										—
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			0	0					0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	0	0	—		1,067	1,067	△0	1,067
当期末残高	5,874	5,674	313	5,988	349	35,300	4,995	40,645	△894	51,613

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,853	△7	3,846	54,392
当期変動額				
剰余金の配当				△1,034
当期純利益				2,102
別途積立金の積立				—
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,513	11	2,524	2,524
当期変動額合計	2,513	11	2,524	3,592
当期末残高	6,367	3	6,371	57,985